

平成二十九年（二〇一七）度

日本及び東洋美術の調査研究報告

中 谷 伸 生
日本東洋美術調査研究班

日本及び東洋美術の調査研究について

日本及び東洋美術の調査研究については、関西大学文学部の中谷伸生（日本近世近代美術史、東アジア美術交渉論、東アジア芸術論）を中心に進めてきた。今回の研究報告は、中谷伸生をはじめとして、関西大学大学院東アジア文化研究科文化交渉学専攻の博士後期課程の大学院生、豊田郁（日本近代美術史、土田麦僊研究）、カラヴァエヴァ・ユリヤ（日本近世絵画史、池大雅研究）、猪瀬あゆみ（日本近世絵画史、与謝蕪村研究）、西田周平（日本陶磁史、志野を中心とする近世近代陶磁器研究）ら、日本及び東洋美術の調査研究班に所属する東アジア文化研究科の院生たちによる資料紹介である。再三の調査をお許しいただいた所蔵家の皆様や資料を提供してくださった皆様に心から感謝を申し上げます。

〈資料紹介〉

《益王重刻小蘭亭図巻（小本）》

——「蘭亭曲水図」の源流、展開、画題をめぐって—— 中谷 伸生

愛石筆《清江釣船図》（関西大学図書館蔵） カラヴァエヴァ・ユリヤ

金子雪操筆・後藤松陰賛《春秋山水図》 猪瀬あゆみ

中村貞以《蚩狩図》 豊田 郁

天山井戸茶碗について 西田 周平